

表紙に使用している画像は、季節の草花などを漉き船に混ぜて、楮の原料と一緒に漉き上げた小川和紙の「花入り漉き込み紙」です。部屋飾りのタペストリーや壁紙などに使用されています。

2年間の集大成！

定数「2減」と広聴の充実へ

読む伝える

P. 2～3 議員定数削減「14人」へ

P. 4～9 決算特集 評価と期待は？

P. 11 「和紙の日条例」改正

P. 15 「広聴特別委員会」を新設

見る魅せる



小川町議会の
紹介



小川町議会の
新たなカタチ



こどもまんなか
大河小学校編

こどもまんなか
(大河小学校編)
裏表紙に関連記事



No.117

発行...埼玉県小川町議会

令和7年9月定例会

会期：9月2日～24日

2025. 11. 1 発行

大河小学校1年生の子どもたち

定数削減を決定 16人→14人 議論白熱

「小川町議会議員定数条例の一部を改正する条例」は、1時間以上にわたる白熱した議論が行われ、人口減少や少子高齢化の中、議会の在り方が問われる本条例は、僅差で定数削減の結果が

われました。反対・賛成討論者は、各3人合計6人で、過去に類をみない討論者数になりました。次回、一般選挙から定数14人となります。

反対討論



定数減は1人がよい

関根慶則

「議員定数検討特別委員会」の出した結論(削減)に反対するものではありません。提出議案の2人削減に反対し、**削減は1人に留めるべき**と考えます。

議員2人減による議会費の削減(年間1,026万円)は認めますが、他にどんなメリットがあるのでしょうか。人口減少、少子高齢化、デジタル社会の時代だからこそ、議会には多様な人材が必要だと考えます。

地域によって異なる顔をみせる小川町で、可能な限り全町民・全地区の意見を反映していくためには、議員2人の削減は影響が大きすぎると考えます。



今こそ議員数維持すべき

五十嵐康博

第一に、**議員定数削減の時期が適切ではない**点です。少子高齢化への対応など課題が、山積している今でしょうか。

第二に、若い世代や新しい人材の立候補機会を守ることです。議員削減は、地区や組織の後押しを受けた候補が有利になるだけです。

第三に、議会のチェック機能と多様化する町民ニーズへの対応です。定数削減は、町民の声を集約できず執行部に対するチェックが弱まるので、町の仕組みが変わった後に、検討すべきではないでしょうか。



多様性が重要

鈴木秀尚

議員定数の見直しは、人口減少の中でやむを得ないと捉えていますが、その人数は、最小である1人に留めるべきだと考えます。

現議員は、多種多様な知見や経験を生かして、小川町をよくしようと奮闘しています。それを**一度に2人減らしてしまうと、多様性をそぐ**こととなります。

様々な課題を抱える町政にあつては、ワンチームで事に当たらないと解決できませんが、皆が同じ方向を向きつつも、多角的・多面的に取り組む必要があります。定数減は「1」に留めるべきではないでしょうか。

反対

田中立男

議員定数の削減は、町民の声を町政に届けるパイプを細くすることになると考え、定数削減には反対です。

大戸久一

定数削減は人口減少の中やむを得ないが、現役世代でも議会参入しやすい環境を整え、熟考の上削減を。

笠原規弘

10年スパンで定数を見直すべきだった。2年後に1人減、10年後に2人減が最適。不利益を被るのは町民だ。

田中照子

なぜ今か。選挙で定数割れがない。若者を議会にと報酬の引上げが課題。見直しは必要だが今ではない。



議長 高瀬 勉

「定数14議会」のスタートに向けて

全議員で約1年半の期間を要してきました。また、昨年12月には置き、全9回に及び会議を重ねる方向性が示されました。

これまでの経緯を踏まえて提1票差で可決。賛否いずれも、苦くありません。

次回(令和9年予定)の一般選挙から定数は「14」となります。今期の残任は、さらなる議会の機能強化と議員の資質向上に努めて、取組を加速していきます。

「定数の見直し」に係る議論を深めた「議員定数検討特別委員会」の中で【削減することが適切】との

出された「定数2減」の改正案は決断であったことは想像に難くありません。

岡部久志

議員定数検討特別委員会委員として十分な議論を重ね、人口減少の進む中、財政効果も含め、将来を見据えた。

山口勝士

「16人いなければ」は、20年経過「見直し」検討で通用しない。14人で経費削減と時代に合う議会の実現を。

笠原英彦

主権は町民に有り、町民の付託を受けた議員の一人として、地域住民の声(削減)が腑に落ちるので賛成とします。

島崎隆夫

議会には『多様な議員』ではなく『多様な民意を反映できる人』が必要。広聴の充実と機動力を備えれば大丈夫。

高橋さゆり

今後の縮小社会を鑑み、町民に対して、議員自身が身を切る改革を示さなければ町民からの信頼は得られない。

賛成討論



議員自ら厳しい選択を

高橋功人

定数14に改正することは、急激な人口減少への対応であること、改正が約20年振りであること、志木市や宮代町など小川町より人口の多い市町で、既に定数14であることから、**2人削減こそが住民の期待**に答えることです。

議員定数が少なくなることにより、町民の意見を聞く機会が少なくなる**デメリットに対して、地区懇談会等で対応**できます。

問題に対して、**議員自ら厳しい選択をすべき**で、勇気を持って定数14を決意しようではないか。

第一に、議員の量ではなく質が重要です。本来少ない人数でできる仕事も、今いる人数でなければならぬと考えがちになると1955年に提唱した人がいます。

第二に、AIです。町民の意見集約は、短期的には地区懇談会、将来にはAIが担うと考えます。

第三に、財政状況です。将来の健全な収支バランスのため、全ての人が少しずつ歩み寄ることが重要で、議員も例外ではないはず。議員削減は、**町民の利益**に沿うことではないでしょうか。

私は小川町に移住して1年半後に立候補し、議員になることができました。

組織の後ろ盾もなく、地区の代表でもない私が当選できたことは、議員定数が削減されたとしても**「頑張れば誰にでもチャンスがある」**ことを、私自身が身をもって証明していると考えます。

定数の見直しについては、これまで特別委員会で十分に議論が行われてきました。それでも「時期ではない」というのなら、一体いつ削減を行うのでしょうか。私は、今こそがその時だと考えます。「やるなら、今」ではないでしょうか。



持続可能のために

田端良成



やるなら今でしょう!

稲村穠治

賛成



令和6年度
スタート

新規事業

の進捗は？

令和6年度から取組が始まった町民にとって身近に必要な事業。継続が期待される4つの事業をピックアップします。

評価 学生3人の防災士が誕生

防災士資格取得の費用を助成 決算額 21万6000円

若い力による未来に向けた地域防災力の強化を図るため、資格取得に係る費用を補助。8人の防災士（内、学生3人）を育成した。



地域防災の中核が期待される高校生防災士。
防災士の（左）茶原百花さん
（右）三上唯那さん



若き力が躍進
Gikai's eye

資格取得の助成に留まらず、早速、防災学習会等で活躍の機会を提供。防災士の重要性をPRできた。

評価 入学祝金を拡大

中学校入学時にも2万円を助成

決算額 510万円

小学生に加え中学生まで対象者を拡大し、入学する児童生徒1人当たり2万円の地域通貨券を255人に支給。

小川町小中学校入学祝金をいただきました。中学校入学前は制服に体操服に通学自転車、靴などけっこうお金がかかるんですね。物価高の今、2万円の祝金は本当にありがたかったです。今後もし続けてほしいです。

根岸望美さん流駈さん（能増）



子育て支援の充実

議会としても要望してきた中学入学時の祝い金の実現。「こどもまんか」の具体化に向けさらに前進！

監査委員の意見（抜粋）《将来を見据えた取組を望む》



やまぐち かつし
議会選出監査委員 山口勝士

〈歳出〉
● 社会保障費抑制のため、高齢者の予防医療・健康づくりの推進を。
● 限られた資源を最適に活用する意識を持ち、効率的・効果的な行政システムの確立を。

〈歳入〉
● 引き続き企業誘致の推進を。
● 国・県等の補助金と交付税措置率の高い有利な地方債の活用を。



ふくしま たかあき
代表監査委員 福島崇晃

期待 高齢者の社会参加を促進

いきいきシニアポイントを付与

決算額 189万5000円

地域の支え手となるボランティア活動及び高齢者が自らの健康づくりや介護予防に取り組む活動を奨励し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進を実施した。

百歳体操サポーター養成講座受講者の皆さん。今後、指導者としての活躍に期待。



評価 ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」がごみ出しの悩みを解決へ

決算額 17万6000円

さんあ〜る（アプリ名）は「ごみ出し日通知」「カレンダー機能」や、家庭ごみの分別が分かるアプリ。便利で使いやすいとの理由で、登録者も1484人（令和7年8月現在）で増加傾向にある。



令和7年6月から、英語、中国語、ベトナム語、韓国語、スペイン語の5か国語に対応し、外国人へのごみ出しルールを周知している。

アプリはこちらの二次元バーコードからダウンロードできます。



Android



iPhone



分別意識の醸成

英語9件、ベトナム語10件、中国語5件の登録を確認している。拡充を期待。



小川町議会だよりは

見出しにコダワル！

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

Q 令和7年2月、町ホームページをリニューアルしたが、その成果は。

A デザインの刷新やスマートフォン対応に加え、アクセシビリティの向上、検索機能の強化、様々なお問い合わせに回答するチャットボット機能の追加、小川町公式LINEや公式YouTube等との連携を図りました。ホームページを見た方が必要な情報によりアクセスしやすい環境となったものと考えます。トップページには視覚に訴える動画を掲載することで関心を引きや



四季折々の美しい光景でお出迎え

期待

町公式ホームページリニューアル タイムリーな情報提供と機能の拡充

事業費100万8000円

すぐする効果もあります。リニューアル後、約半年が経過した現在、13万件を超えるアクセス件数となっています。

評価

移住サポートセンター 町の魅力発信や移住相談等の業務

事業費552万1000円

Q マッチングにつながった移住の実績等は。

A 総合窓口として専門のコーディネーターを配置し、相談・空き物件調査・メールマガジンやイベントなどでの情報発信等の業務を通じ、ワンストップでの支援を実施しています。また、令和5年4月から、地域おこし協力隊の方に、相談業務や物件情報の収集等を中心に携わってもらっています。令和6年度は41組76人の方が移住しました。今後も、当町の魅力

等を伝えるとともに、移住につながる取組をしつかりと進めていきます。

Q 空き家・空き店舗についての調査の実施は。

A センター開設時に調査した資料を参考に、物件の情報については、町内不動産業者などが扱っている物件や空き家等を所有されている方からの情報提供等を基に現地訪問や内覧をし、情報収集に努めています。

評価

多面的機能支払交付金 農地周辺の機能維持・発揮を支援

事業費1488万6000円

Q どのような団体に交付されているのか。

A 水路の保全・災害防止・草刈りなど農地とその周辺の環境に維持・発揮を目的とする地域の共同活動に取り組む15団体に支援を行っています。支援を受ける条件として、5年間の活動計画書・会



高齢化と
会員減少

10年間関わっていますが、農家さん以外の方々のコミュニケーションの場にもなっています。高齢化が進み、会員が減ってきているのが悩みです。
湯澤宗治さん（上横田）

AQ 農地周辺の維持管理などに一定の成果が上がっていると考えます。作業に従事している方々の高齢化が課題となっています。

計報告書の提出を義務づけ、面積に応じて交付しています。

評価

子ども家庭総合支援センター 子育て家庭を包括的に支援

事業費482万円

AQ センターを設置した成果は。

A こども家庭センターでは、「児童虐待や児童虐待が疑われるケースや支援を必要とするご家庭などへの対応」について、関係機関と連携を図りながら、早期かつ適切な対応に努めているところです。



子育て支援センター（ココット）の機能が強化されました。

AQ 設置後の課題は。

A 月平均250件弱ほどの相談や対応などに追われています。

また困難なケースは様々で、子どもだけに限らず、保護者、家庭への支援も必要で、命に関わることもあり、早急、適正な判断が要求されます。

川越児童相談所による小川町の相談受付数

	R4年度	R5年度	R6年度
相談受付数	85件	85件	103件
虐待相談対応件数	40件	36件	58件

私たちの町、
どうなってる？

ただ
議員が質した

222

のこと

本定例会は、新しい議会体制のもとで、議員提出3議案を含め24の議案について真剣かつ活発な審議が行われました。その中から新規事業等を中心に、リニューアルした紙面でお伝えします。



9月定例会の会議録は令和7年12月上旬から見られます。二次元バーコードからインターネットで「小川町議会 会議録」と検索

Pick up!

移住者数

41組 76人

公共施設
利用料金

20年
ぶり見直し

知っておきたい！この数字

期待

レンタル乗り物購入 道の駅から町なかや周辺観光へ誘導

事業費1735万4000円

Q 道の駅おがわまち再整備基本計画に基づき購入した電動トゥクトゥク3台・電動アシスト自転車12台・電動キックボード4台の稼働状況は。

A 5月30日がオープンでしたが、まだ統計が取れていませんが、稼働状況は低調だったようです。理由は、十分に周知されていないことや暑さといった気候が大きな要因と考えています。

今後は過ごしやすい季節になるので、今後の推移を見ていきます。また、地域おこし協力隊とともに周辺観光の企画も考える予定です。

Q この電動トゥクトゥクなどの維持費は、どの程度か。

A 3種目合計で年間約180万円です。



電動キックボード・電動トゥクトゥクで楽しい周辺観光を

すびめ」に置いて、レンタルしてはどうか。

A 現在「むすびめ」で実施している電動アシスト自転車のレンタルは、稼働が良い状態です。「むすびめ」に置くことは、稼働率改善につながる期待はできますが、車両の保管場所等課題も多いので、すぐにはできません。

今後も3種目の稼働率を上げる工夫について、研究していきます。

評価

地域創造力アドバイザー活用 地元高校生の起業家精神を醸成

事業費195万円

Q 起業体験プログラムの成果と課題は。

A 起業体験により、高校生の起業意識をさらに高め、地域での起業家の創出を図ることで、空き店舗の活用や交流人口の増加につなげることを目的とし、事業を実施しました。

小川高校3年生を対象とした起業体験プログラムを実施し、生徒の探求・企業教育をサポートすることでプログラムの充実を図りました。

実施後は、8割を超える生徒から「起業の検討をしたい」という回答があり、一定の効果があつたと考えています。

課題としては、高校生が考えた商品を実際に商品化する事業者や株主総



チームごとに考えた商品をプレゼンテーション

会に参加した事業者等、地元事業者とのつながりが希薄だったことです。

そこで、今年度は、令和6年度の課題を踏まえ、地元事業者とのつながりをより強くすることを目指して実施しています。

※商品例：七色餃子、フワフワマドレーヌ、コッソンのTシャツなど

評価

子どもインフルエンザ予防接種 中学3年生を対象に接種費用を助成

事業費21万円

AQ 全体の受診率は。

令和6年度中学3年生全体は198人であり、そのうち67件の申請がありました。インフルエンザ予防接種は任意接種になりますので、接種の義務はなく、また保護者の勤める会社の保険組合等で助成を受けている方もいることから、全体の接種率というのはいわかりかねます。

町に申請のあった分は接種率にして約34%となり、これは他市町村と比較しても同等の接種率となっています。

AQ 事業の効果等は。



いよいよ受験準備が始まる中学3年生がんばれ!

相当者に対しインフルエンザ予防接種の助成を行えたことは、個人の感染・重症化予防に加え、安心して受験や就職活動が行える一助となったものと推察しています。

特別会計決算

「健康長寿」につなげる医療と介護

国民健康保険特別会計

AQ 「高額療養費」の傾向等は。

令和6年度の歳出は3億3867万円となり、前年度と比べてわずかですが、減額となりました。また、歳出に占める主な疾病として、新生物(腫瘍)や循環器系の疾病が挙げられます。今後も、特定健康診査やがん検診に取り組むことで、疾病の予防につながるよう努めていきます。

Q 特定健診の受診率向上に向けた取組等は。

A チラシやポスターの配布・広報おがわやSNSの活用・圧着はがきの郵送による受診勧奨・受診者に抽選でエコバッグをプレゼント等により、啓発を行いました。

介護保険特別会計

Q 令和6年度の介護報酬改定において、介護従事者に対する処遇改善は図られたか。

A 当町においては、41事業所(町内事業所21)が「介護職員処遇改善加算」を取得している状況です。これは、保険給付費に反映されていると同時に、介護職員の生活の安定や向上・労働市場における介護職の魅力の増大・人材確保の効果的な推進等に寄与していると考えています。



埼玉県けんこう大使
星夢ちゃんのエコバッグ



小川町議会だよりは

町民登壇にコダワル!

広い年代の皆さんに、たくさん登壇していただきます。

町有地等管理

開発団地外周の相次ぐナラ枯れ等に対応

事業費1422万円

Q 当初予算483万8000円に対して多額の要求だが、当初予算に計上しなかった理由は。

A 東小川地内の枯れ木の伐採、具体的にはナラ枯れの対応に係る費用と、線路沿いの法面の側溝清掃、土砂の運び出し、除草等を行うものです。どちらも、対応しない場合は鉄道の運行に支障が出るものが想定されることから、補正予算として計上しました。

昨年度対応した樹木の周辺の10本の伐採を考えています。鉄道会社との調整や、急な法面での作業等が必要となると想定しています。当初予算で措置できなかった理由は、対応が必要と認識できた時期が当初予算の編成後であるため、補正予算に計上しました。

図書館照明

AQ LED化の詳しい内容を。

A 予算の内容は、工事請負費と委託料です。財源は、国からの地方創生臨時交付金を活用し、その範囲内で実施します。今回の工事では全館LED化が完了しませんが、図書館全体のマスタープランを考慮し、計画的に工事を進めたいと考えています。施工は吊り下げ形のライトを予定しています。



20年ぶりの見直し

持続可能な公共施設の運営を

Q 減免措置の規定を条文化した理由は。

A 無料、減額、免除の違いが分かりづらいことから、免除規定で統一し明確化しました。今回は利用控えを考慮し、現行の免除規定を変更せずに据置きしますが、今後の公共施設を適正に維持するには社会状況の変化などを考慮し見直しをしていく必要があります。

Q 施設に附帯している設備や備品の使用料の見直しは。

A 施設ごとに設定できるようになります。

Q 大規模な改修や利用方法の変更がある施設は、再度使用料の見直しを検討するのかわ。

A パトリアおがわのホールや空調整備を行う学校の体育館は、改修後に検討を行います。

Q 今回の使用料の見直しにより、施設の管理運営コストを賄えるのか。

A 利用者及び公費の負担の適正化を図り、利用者の方の負担が急激に大きくならないよう緩和措置を取りました。今後の公共施設の維持・運営コストの全額を充当するのは難しいと考えます。



議員提出議案

和紙の日条例・えん罪の防止救済の意見書を可決

●小川和紙の日を定める条例の一部改正

小川和紙の観光資源活用

「細川紙の手漉き和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され10年。小川和紙全体の発展や伝統文化の継承・産業振興に向けて条例が制定された。小川和紙のさらなる発展を願い、道の駅おがわまちのリニューアルを機に小川和紙を観光資源として位置づけた。

●刑事訴訟法再審規定(再審法)の改正を求める意見書

えん罪の防止と救済のため

現行の国の制度においては三審制が採用され、慎重な裁判を行うことができることとなっているが、現実にはいくつもの再審無罪判決が下されている。これらの状況を踏まえ、刑事訴訟法の再審に係る規定の改正をすることを求めた。

公開します

議決結果はHPでも見られます→



議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対

一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他15議案は
全員賛成で原案どおり
「可決・認定・同意」しました



審議した主な議案

議 案 名		議 員 名															審議結果	
		田中立男	関根慶則	田端良成	岡部久志	稲村壤治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	高橋功人	高橋さゆり	山口勝士	島崎隆夫	高瀬 勉	
公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度 決算の認定	一般会計 122億2277万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ <small>認</small>	○	○	○	○	認定
	国民健康保険特別会計(事業勘定) 35億2910万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	後期高齢者医療特別会計 5億3640万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	介護保険特別会計（保険事業勘定）32億5711万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議員提出 議案	「えん罪の防止と救済のため、刑事訴訟法再審規定（再審法）の改正を求める意見書」	○	○	○	○	○	○ <small>討</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小川和紙の日を定める条例の一部改正	○	○	○ <small>認</small>	○	○	○	○	○ <small>認</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小川町議会議員定数条例の一部改正	×	×	○ <small>認</small>	○	○ <small>認</small>	×	×	×	×	×	○	○ <small>認</small>	○	○	○	○	可決

一部事務組合議会から報告

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会・公平委員会

比企広域市町村圏組合議会(令和7年8月7日)
業務の効率化・適正な執行を

・令和6年度 歳入歳出決算(5件) 原案どおり認定

構成市町村の状況を鑑み、一層の業務効率化が求められる。業務DX化の検討を進めることにより、適正な業務執行に努めることを望む。(決算意見書より)

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会(令和7年8月19日)
施設の老朽化・事業費の増加等が課題

・令和6年度 一般会計歳入歳出決算 原案どおり認定

施設の老朽化、物価高騰による事業費の増加、人口減が課題になっている。安定的な廃棄物処理を継続できるような的確な予算編成を実施するとともに、慎重な予算執行を望む。(決算意見書より)

小川町議会だよりは

写真に「タワル」

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

8の視点 一般質問

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに
要約版で掲載。全文（会議録）は令和7年12月上旬に公開予定です。



皆さんはどのテーマに関心がありますか？



「歩いて、見て、聴いた」ことを踏まえ
議員が自身の提言を交え町に考えを質す。
小川町らしい近未来を目指して！

P.12 LED照明

P.13 平和の推進

P.13 自治体DX

P.14 子ども子育て

P.12 槻川遊歩道

P.13 町内循環

P.14 農 林 業

P.14 高齢者支援

平和の推進

戦後80年の
節目の取組は



たかはし
高橋さゆり 議員
が町に問う！

【答弁】 被爆地広島とつな
がる展示を開催しました

Q 当町では昭和62年
9月25日に「小川町非
核平和都市宣言」を宣
言した。学校教育では
どのように取り組んで
いるのか。

A 総務課長 平和推
進事業として、継続的
に「核兵器廃絶と平和
の尊さ」を町民の皆さ
んに伝える取組をして
います。今年度は「あ
れから80年〜広島と小
川町の戦争・平和へ」
の展示を開催しました。

Q 町民に対してはど
のように取り組んでい
るのか。



手漕ぎ和紙風船爆弾模型の展示

町内循環

町内でお金を
回す仕組みは



すずき 鈴木秀尚 議員
が町に問う！

【答弁】 様々な課題があり
ますが対応しています

Q 道の駅のにぎわい
を町なかに波及させて
町内でお金を回す仕
組みは。

A 環境農林課長 プ
ラントの老朽化対策や
生ごみの収集運搬委託
料等の課題があります
ので、現状を続けます。
●その他の質問
・高齢者の移動手段
・パトリアおがわに関
する今後の方針

Q 生ごみを有効活用
するバイオガス液肥作
りを大規模にできない
か。また、町内で出た
残渣を液肥にし、野菜
作りに使う町内循環を。



生ごみの町内循環プラント

自治体DX

標準準拠シス
テムの移行は



ただ よしなり
田端良成 議員
が町に問う！

【答弁】 11月の本稼働に
向けて進めています

Q ガバメントクラウ
ド環境の標準準拠シス
テム①への移行状況は。

A 政策推進課長 11
月に移行を予定してい
ます。国が掲げる自治
体DX推進計画の一つ
で、住民サービスの向
上、業務の効率化のた
め重要な事業です。

Q ノーコードツール
で庁舎内システム
を内製化できないか。



電子申請システムで簡単予約

LED照明

公共建築物の
LED化率は



たかせ つとむ
高瀬 勉 議員
が町に問う！

【答弁】 一部LED化済を
含めて全体の45・6%で
す

Q 公共建築物におけ
るLED化率と、今後
の進捗は。

A 政策推進課長 68
の公共建築物のうち、
LED化が完了してい
るものが6か所・一部
完了しているものが25
か所という状況で、全
体のLED化率は45・
6%となっています。
また、今後も各施設の
修繕や改修に併せて、
順次、LED化を進め
ていく予定です。

Q 「蛍光灯の202
7年問題」①に対す



小川ハナイター照明がLEDに

槻川遊歩道

観光施策の
拡充を



かさはらのりひさ
笠原規弘 議員
が町に問う！

【答弁】 道の駅を拠点とし
て連携強化を図ります

Q 槻川遊歩道周辺を
重点地域に指定し、観
光施策の拡充を狙っ
てはどうか。

A にぎわい創出課長
中心市街地から下里地
区にかけての槻川流域
は、小川町総合振興計
画における「観光・交
流ゾーン」に位置づけ
ています。道の駅を拠
点として、各地域資源
との連携強化を図っ
ていきます。

Q 小川町遺族会小川



道の駅までつながることを期待

117号にかけて
いいな！と
思ったことは？

Vol.31

Mini Interview P14までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」

「水銀に関する水俣条約」において、
蛍光灯の製造と輸出入を2027年
末までに禁止すること。蛍光灯の
値上げと品不足が予想される

議会だより、いいなと思います。
見開きの特集、選りすぐりの写真、
このミニインタビュー！
(S・Yさん 60代)

見晴らしの丘公園からの眺望は最高
ですね。町の全景を案内するのにも
利用しています。(S・Nさん 48歳)

16議員の「知恵が結び合う議会」へ

議会の「チェックとバランス」の機能を最大限に発揮するため、さらなる研鑽に励みます。また「定数2減」や「地区懇談会」など、議会改革・活性化の取組を継承し、実践を積み重ねていきます。お互いへのリスペクトを忘れず、多様な価値観を大切に、多くの議論・対話のもとに、16議員の「知恵が結び合う議会」を創造していきます。



議長 高瀬 勉 副議長 笠原英彦

本紙面の「お知らせ機能」に、地区懇談会の「聴かせて機能」を併せもった新しい議会がスタートします。皆さんの声をより反映できるよう努めていきます。

住民と議会の新たなカタチ

広聴特別委員会を設置

聴きます

広聴特別委員会



3つの役割

提案します

調査研究

報せま

議会広報発行特別委員会は次のページへ

総務常任委員会

担当 総務、企画・財政、防災・防犯・地域支援、税務、会計等

テーマ「地域防災力の強化」につなげる公共施設の利活用



経済建設常任委員会

担当 環境対策・農林業、商工業の振興・観光、建設・地籍調査、都市計画、水道・下水道等

テーマ 持続可能な行政サービスを支える都市整備と公共交通のあり方



厚生文教常任委員会

担当 戸籍・年金・国民健康保険、福祉・健康増進、高齢福祉、子育て支援、学校教育、生涯学習等

テーマ 少子化・学校再編を見据えた子どもが活き活きと活動する「地域クラブ活動」のあり方



議会運営委員会

委員長 高橋さゆり 副委員長 関根慶則
委員 笠原規弘・島崎隆夫・山口勝士・田中立男

議会選出監査委員

高橋功人

小川地区衛生組合

高瀬 勉・山口勝士・大戸久一・笠原英彦

比企広域市町村圏組合

高瀬 勉・岡部久志

将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図。農業経営基盤強化促進法に基づき策定する計画。

農林業

農業経営等への支援は



しまぎたかお 島崎隆夫議員が町に問う！

答弁 担い手の育成支援をしています

Q 「地域計画」が策定されたが、土地所有者と耕作者に対し、経営などに関する支援は

A 環境農林課長 所

有者と耕作者が、この計画を理解してもらえ、農村が持つ多面的機能を発揮するための支援と担い手の育成支援をしています。

Q 「森林環境譲与税」に伴う様々な施策が進んでいる。山林の在り方は、農業にも影響を与えているため、全体

A 環境農林課長 農



令和7年のお米の出来は

子ども子育て

川に親しむ体験場所は



やまぐちかつし 山口勝士議員が町に問う！

答弁 道の駅南側の川辺に遊び場を設置予定です

Q 道の駅南側河川の「バーベキュー場計画」で、子どもたちが遊べる川・水の流れを感じ

A にぎわい創出課長

埼玉県「水辺deベンチャーチャレンジ」事業は、水辺に下りるスロープや階段・バーベキュー場を備えた親水テラス・川辺の遊び場が設置される予定です。川に愛着を持ち、ふるさとを



響け子どもたちの歓声！

高齢者支援

独り暮らしの見守り活動は



たなかたつお 田中立男議員が町に問う！

答弁 地域で支える体制を考えていきます

Q 独り暮らしの高齢者の見守り活動は

A 長生き支援課長

緊急連絡通信システム・寝具洗濯乾燥消毒事業・配食サービス等を通じて、地域で支える体制を考えていきます。



いつも元気にラジオ体操

思う存分寝ることができることです。赤ちゃんのためなら夜中でも頑張ります。(Y・Tさん 22歳)

小学校のおがわ学。自分たちで育てた大豆で味噌を作ります。出来上がりが楽しみです。(C・Tさん 39歳)

わたしの「まんなか」



大河小学校長
宮澤 忍

大河小学校の子どもたちは穏やかで優しい子が多く、これ

は大河地区の豊かな自然と子どもたちを見守る地域の方の温かいまなざしによって育まれてきたものだと感じます。

子どもたちは、学校教育目標の「自ら学ぶ子 やさしい子 たくましい子」を胸に刻み、これから的大河地区、そして小川町の文化や歴史を築いてくれることと思います。

地域の皆様には、今後も大河小学校の子どもたちを「地域の宝」として、見守り励まし続けていただきますようお願い申し上げます。

地域の宝の子どもたち



大河小学校6年生の子どもたち

田中照子 委員

2年ぶり4度目です。心がけることは町民の皆さんに手に取ってもらえる広報と記事の正当性です。

田端良成 委員

2周目です。鐘がなるまで走る、かも？「読んでよ」の一言が励みになります。新たな出会いを楽しみにしています。

笠原規弘 委員

4年ぶりの編集委員です。【知りたい内容】と【お伝えしたい内容】を日々追及していきます。

高瀬 勉 発行責任者

編集作業は卒業！と思いきや…これからは発行の責任も取る立場に。眠れない日々は続きます。8人の奮闘に乞うご期待!!

議会広報発行特別委員会



新編集委員からひと言

関根慶則 委員

再度広報委員にならせていただきました。議会活動の「今」を正しくお伝えできるようがんばります。よろしくお願いします。

田中立男 委員

初めての編集委員です。町民の皆さんの様々な声を受けとめ、力を合わせよりよい「おがわざかい」を目指します。

鈴木秀尚 副委員長

「進化する議会だより」を目指して、1に取材、2に撮影、3に執筆、編集会議を盛り上げていきます!

高橋功人 委員長

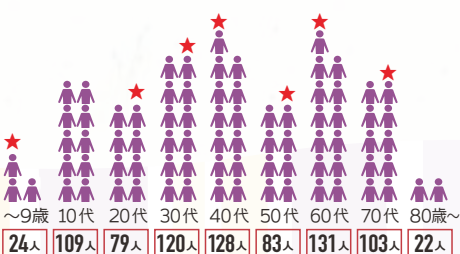
本紙を通して、小川町議会の活動が今まで以上に理解していただけるように努力します。

議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ

※2016年5月リニューアル号(No.79)以降の合計人数

799人 (★印は今号取材)



次の定例会は

12月3日(水)～

午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



発行責任者：小川町議会議長 高瀬 勉

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 鈴木秀尚
委員 田中照子・笠原規弘・関根慶則
田中立男・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています